

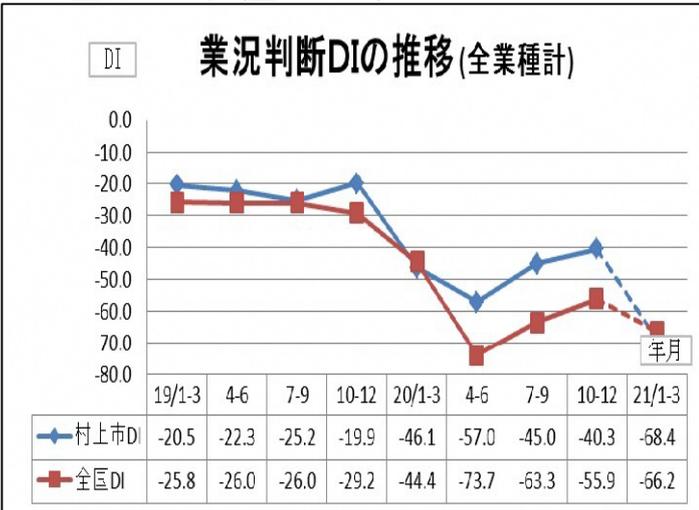


村上市 景況調査報告

〈令和2年10-12月期の実績・令和3年1-3月期の見通し〉

『新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況』

■村上市の業況(全業種計)

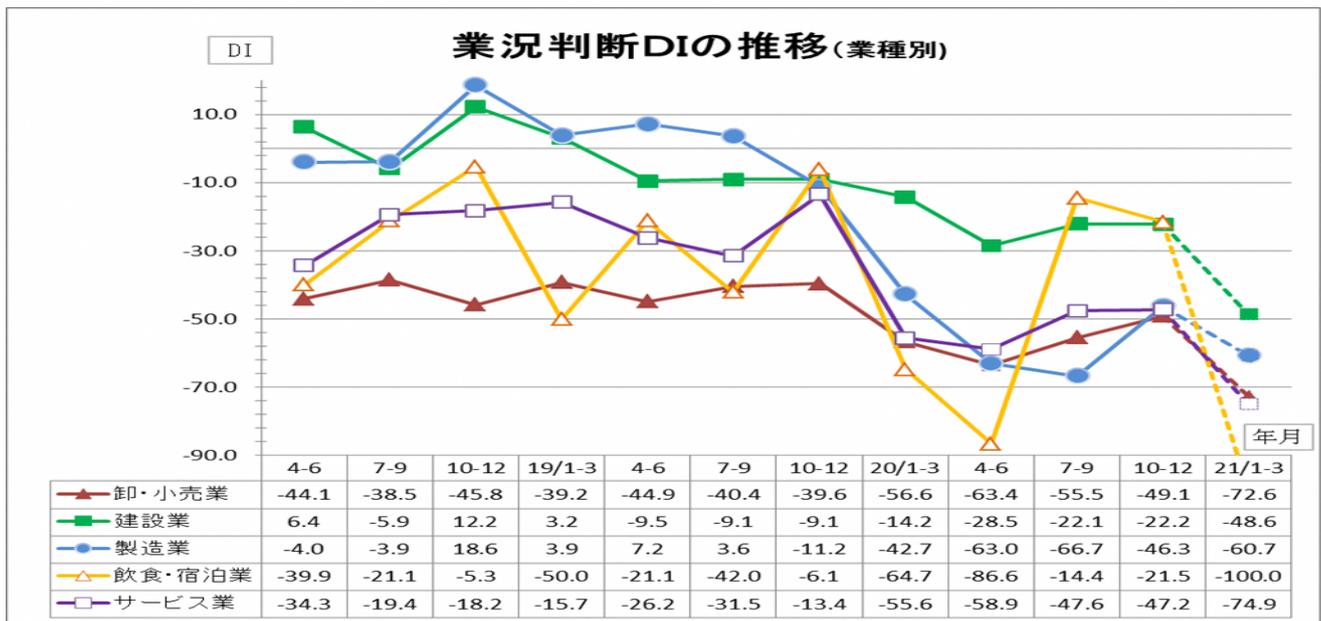


今期(10-12月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(7-9月期)と比べ4.7ポイント上昇し▲40.3となった。前期における今期予測(▲42.7)より2.4ポイント上昇し前年同月比では20.4ポイント低下した。全国DIは7.4ポイント上昇し▲55.9となった。

来期(1-3月期)については、28.1ポイント低下し▲68.4となる見通し。全国DIは10.3ポイント低下し▲66.2となる見通し。

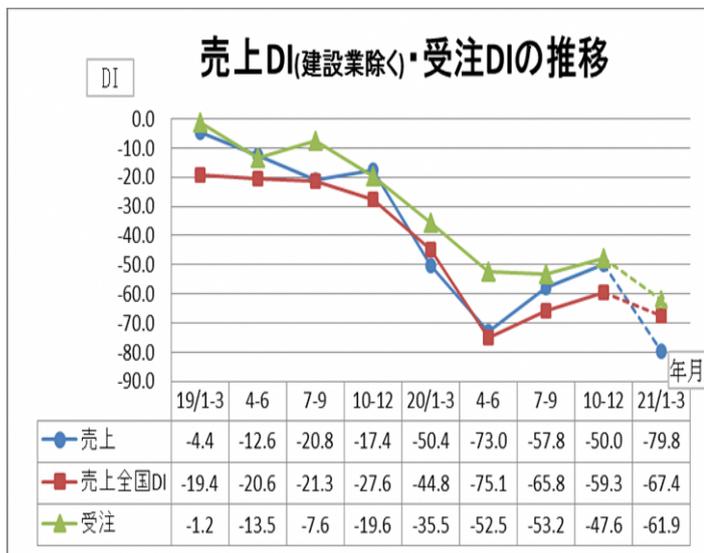
新型コロナウイルスの影響は引き続き大きい。業種別に見ると卸・小売業、製造業、サービス業で上昇に転じている。

今後の動向としては、GoTo事業やオリンピックの方向性が注視される。



■各業種の動向

卸・小売業	観光客の立ち寄り小売業ではGoToトラベル関連で好調だったものの年末からコロナ感染者が増えたことで人の動きが減って低迷。食品・弁当小売では地域イベント・地区の会合等がほとんどないため注文数が圧倒的に少ない。酒類小売は新商品が出回る最盛期での影響で微減。生鮮野菜・家具小売では巣ごもり需要により好調なところもある。見通しとしては、大雪による悪天候・緊急事態宣言・GoTo事業の停止などにより引き続き厳しいとの見方が多い。	飲食・宿泊業	宿泊業ではGoToトラベル効果で前年比プラスに転じたところがいくつか見られるが、GoTo事業によりなんとか持ちこたえているという意見もある。飲食店では団体が少ない上にさらに小グループも少ない。やはりGoTo事業の恩恵は大きく、特にGoToイートに助けられたという声が多い。ステイホームの影響もありテイクアウトを始めた店は好調で、おせち需要が増えたところも。見通しとしては、年末予約キャンセルが相次いだ上に新年会需要も少なく真暗。	
建設業	リフォーム工事が少ないことによる競争激化。受注数が少ない上に受注額も減少している。例年は繁忙期で人員が足りないくらいだが今年は現場が少ない。技術系社員は依然として不足。見通しとしては、受注が少なくさらに年度末は毎年、端境期で人手が余りがち。	サービス業	理美容業では外出機会の減少により来店頻度が減っている。運送業では人の動きがないことによる物流量の低下。自動車整備業では大雪の影響のためか、昨年より整備需要が増えている。HP作成業では受注が新潟の大手に取られている。見通しとしては、コロナの影響が心配だが人が動いて欲しいという意見が多い。また、消費が慎重になっているとの見方もある。	
製造業	航空機業界は受注が大幅に減少して売上半減の企業もある。食品製造の一部では好調だが、価格の値下げ交渉が多いところもある。見通しとしては、年間で一番閑散期となる上、原材料の高騰、人件費などの経費増加が懸念。オリンピックの動向も注視される。			

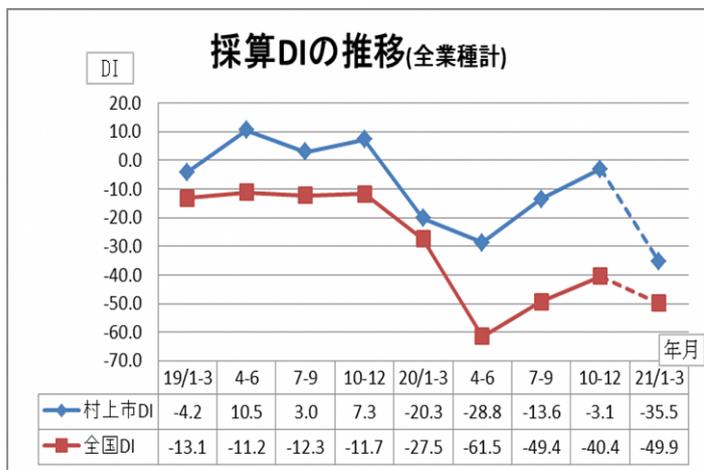


今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、7.8%上昇し▲50.0となった。前期における今期予測(▲61.0)より11.0%上昇し前年同月比では32.6%低下した。全国DIは6.5%上昇し▲59.3となった。来期については、29.8%低下し▲79.8となる見通し。全国DIは8.1%低下し▲67.4となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、5.6%上昇し▲47.6となった。前期における今期予測(▲50.8)より3.2%上昇し前年同月比では28.0%低下した。来期については、14.3%低下し▲61.9となる見通し。

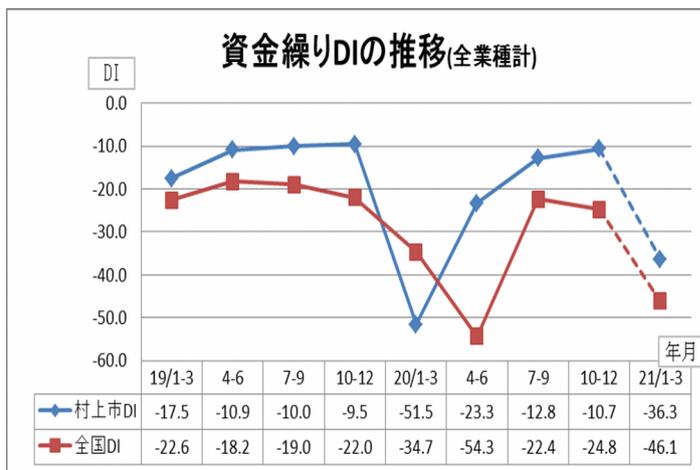
【受注DIの内訳】

	前期	今期	来期
・建設業	▲44.5	▲30.5	▲52.8
・製造業	▲65.5	▲70.4	▲74.1



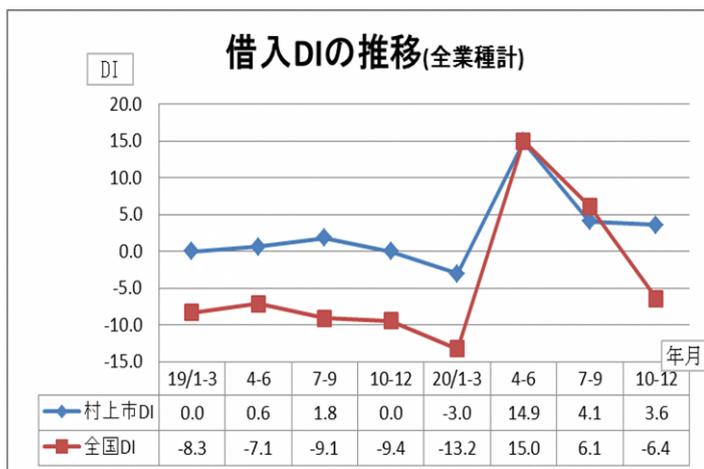
今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、10.5%上昇し▲3.1となった。前期における今期予測(▲19.3)より16.2%上昇し前年同月比では10.4%低下した。全国DIは9.0%上昇し▲40.4となった。

来期については、32.4%低下し▲35.5となる見通し。全国DIは9.5%低下し▲49.9となる見通し。



今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、2.1%上昇し▲10.7となった。前期における今期予測(▲23.8)より13.1%上昇し前年同月比では1.2%低下した。全国DIは2.4%低下し▲24.8となった。

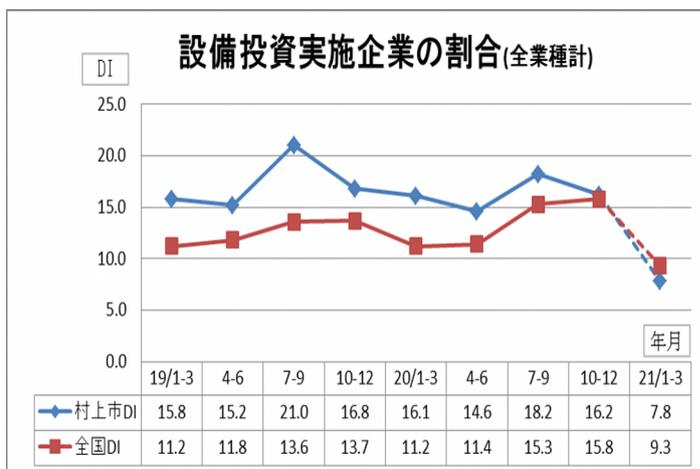
来期については、25.6%低下し▲36.3となる見通し。全国DIは21.3%低下し▲46.1となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、0.5%低下し3.6となった。全国DIは12.5%低下し▲6.4となった。

【借入DIの内訳】

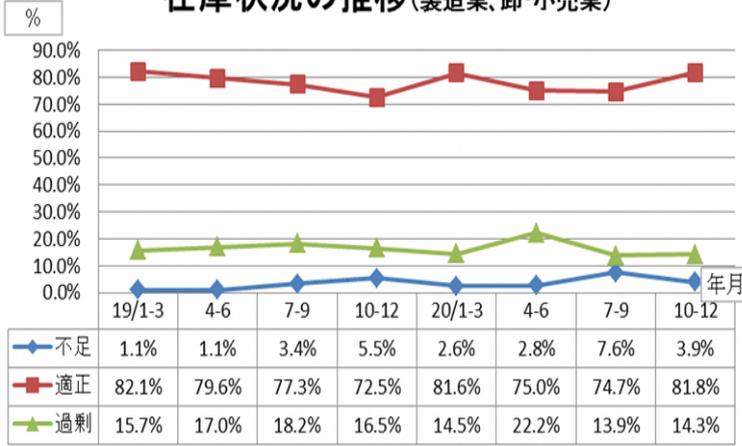
	前期	今期
・容易になった	7.7%	→ 4.8%
・変わらない	33.3%	→ 35.7%
・難しくなった	3.6%	→ 1.2%



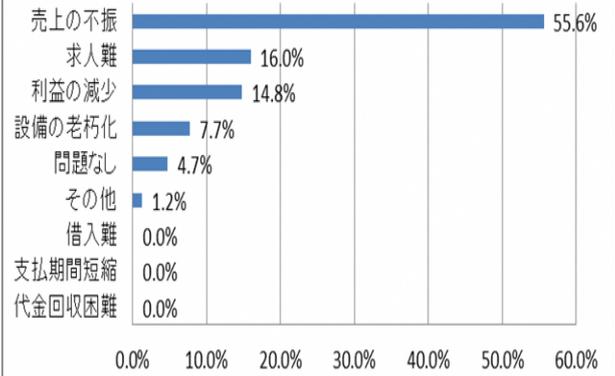
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、2.0%低下し16.2となった。前期における今期予測(11.2)より5.0%上昇し前年同月比では0.6%低下した。全国DIは0.5%上昇し15.8となった。

来期については、8.4%低下し7.8となる見通し。全国DIは6.5%低下し9.3となる見通し。

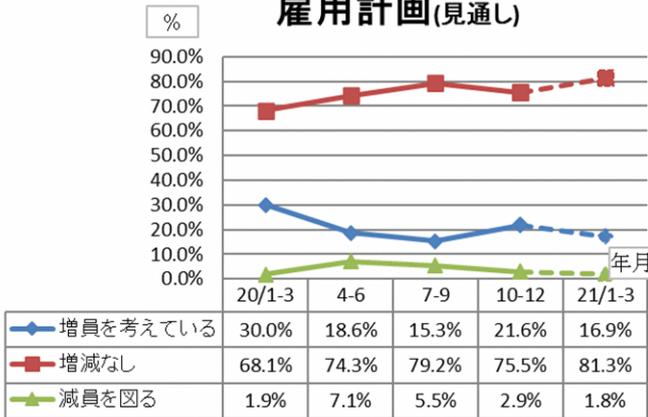
在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



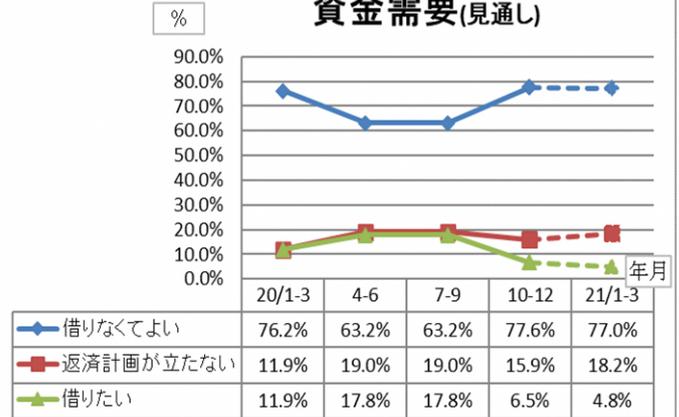
経営上の問題点



雇用計画(見通し)

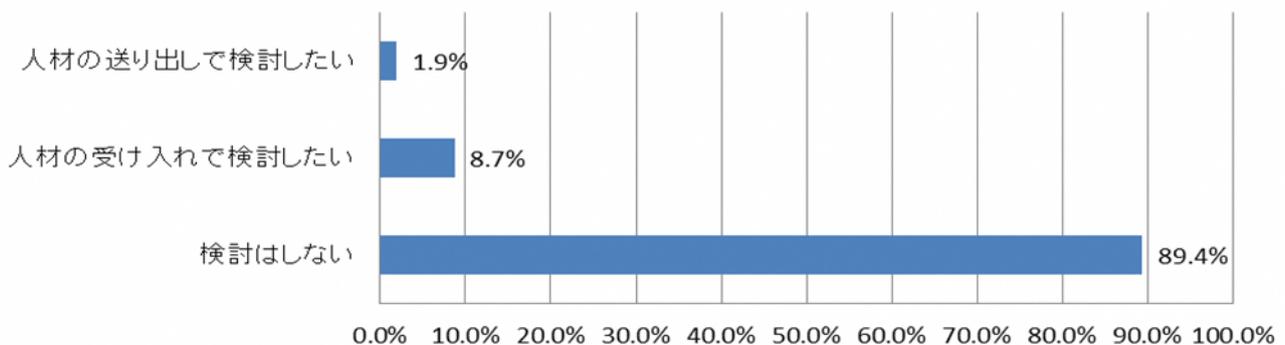


資金需要(見通し)

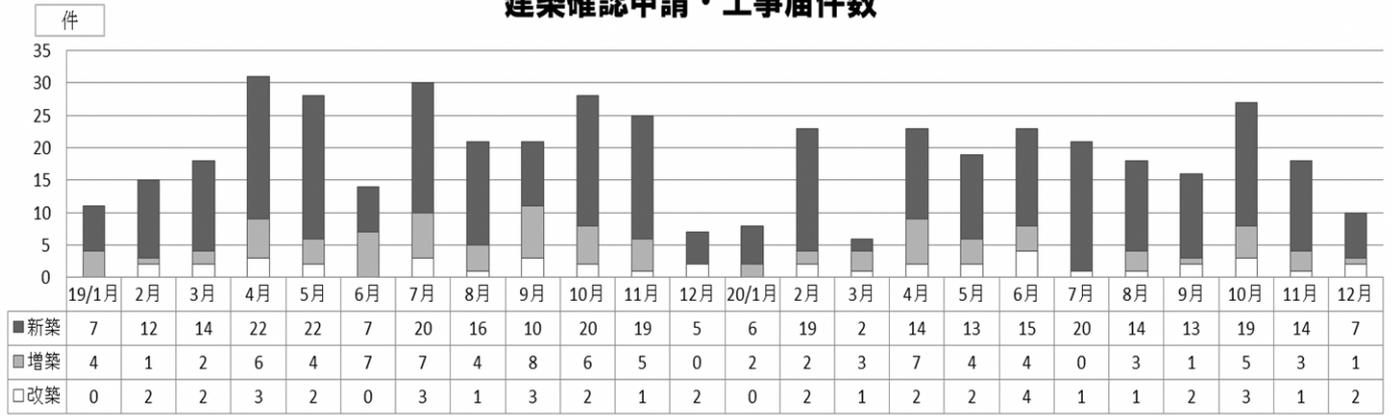


■新型コロナウイルスの影響を受け、政府も新たに外向元、外向先双方を対象とした助成制度の設計を進めていますが、雇用シェアについてお考えをお聞かせください。

雇用シェアについて

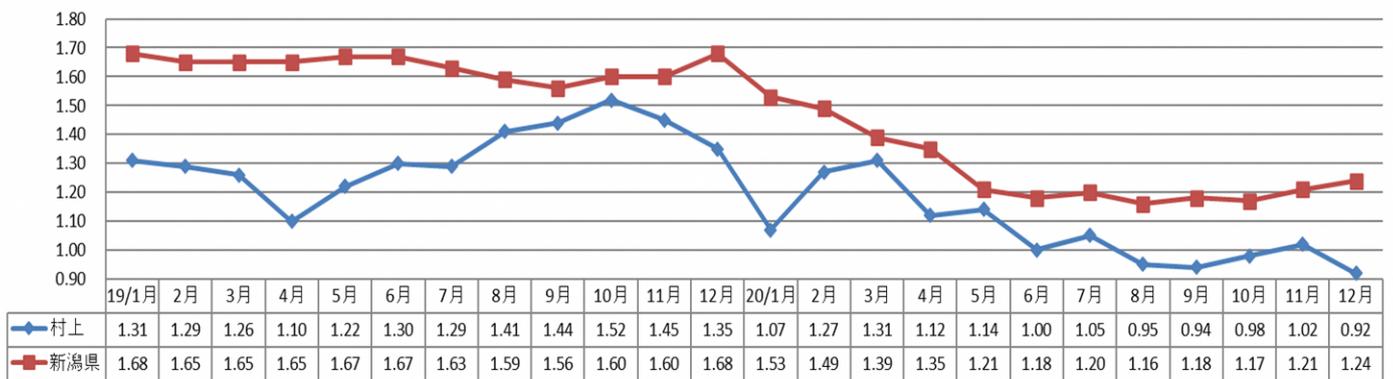


建築確認申請・工事届件数



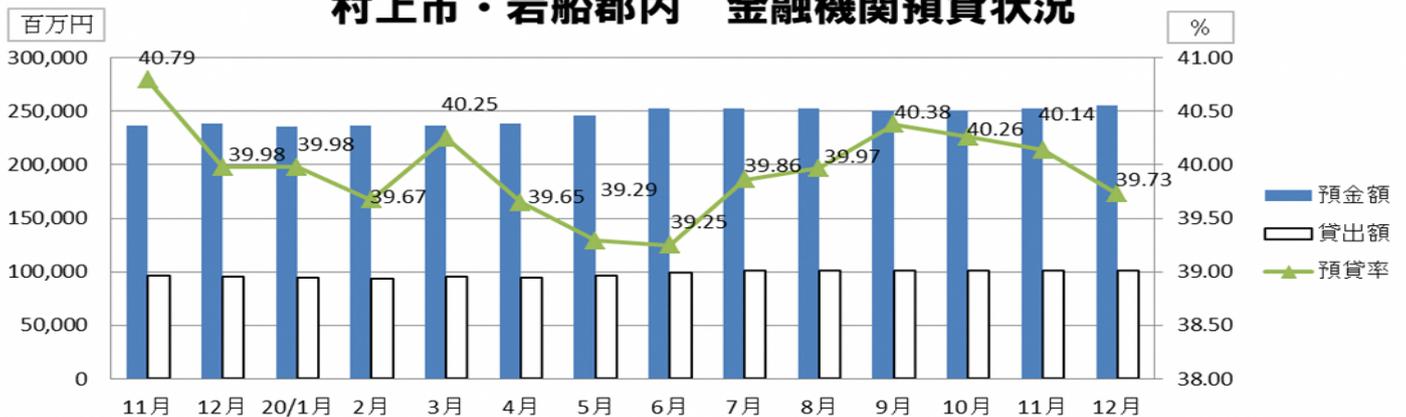
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



調査概要

調査時期	2020年12月中旬～2021年1月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:169社(回収率84.5%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫 (全国DI) <2020.10-12実績、2021.1-3見通し>

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)